

(様式例2)

平成23年度 事業報告書  
(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

特定非営利活動法人 伊賀の伝丸

1 事業の成果

【成果1】3年間の県委託事業「就業のための日本語習得事業」と「外国人住民アドバイザー事業」が3月末で終了した。日本語講座開講のためのスキルと、各種セミナー開催を通じて、イベント告知や集客を戦略的に行う手法、地域に暮らす外国人住民へ情報を直接届ける手段(情報メールアドレスの収集)など獲得した。3年間人材の雇用・育成過程では、難しい面も多々あったが、スタッフの教育や意思疎通のしきみ、また福利厚生整備など、今後の団体運営の基盤強化をすることが出来た。

【成果2】昨秋には、三重県の協働事業提案に第1位で採択された「災害にも強い多文化共生の地域づくり事業」を開始し、市民とともに進める多文化共生のまちづくりをさらに進めるべく動き出している。

【成果3】県委託:NPO法人Mブリッジさん実施の「書き描き塾」に応募し、ロゴマーク・キャラクターを作成し、設立の想いや専門性のアピールで信頼していただける団体のパンフレットとしてリニューアルすることが出来た。作成過程で、理事と事務局スタッフが団体のイメージや進むべき方向性を幾度も話し合うことで、一体感を持てたことが、何よりの成果である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	支出額(千円)
多文化共生に関する事業の受託	就業のための日本語習得事業(三重県委託)	H24年3月まで	事務所・教室 他	14名 (9名)	地域住民 約200名	7778
	外国人住民アドバイザー事業(三重県委託)	H24年3月まで	事務所 伊賀地区	21名 (16名)	地域住民 約660名	4136
	災害にも強い多文化共生地域づくり事業(三重県委託)	H23年9月から	事務所 伊賀地区	18名 (12名)	地域住民 約450名	4485
多文化共生及びまちづくりに寄与するための多言語通訳翻訳事業	通訳事業	通期	事務所 伊賀地区 三重県下	24人 (22人)	地域住民・団体 行政、企業	1519
	伊賀SGGクラブの運営	通期	事務所 伊賀地区	22人 (20人)	外国人観光客など 約64名	63
	翻訳事業	通期	事務所 伊賀地区 三重県下	24人 (22人)	地域住民・団体 行政、企業	1550
多文化理解と国際協力の推進	多文化理解講座講師派遣 コーディネーター	通期	事務所 伊賀地区	6人 (4人)	教職員・児童生徒 行政・地域住民など 約1242名	186
語学講座	日本語講座	通期	事務所・教室	5人 (3人)	外国籍住民約9名	719
	中国語講座	通期	事務所・教室	5人 (2人)	地域住民約3名	
	ポルトガル語講座	通期	事務所・教室	3人 (1人)	地域住民約8名	
	スペイン語講座	通期	事務所・教室	7人 (5人)	企業社員 地域住民約31名	
日本で生活する異文化ルーツの人たちへの支援事業	多言語生活相談事業	H24年4月から	事務所 伊賀地区	6人 (1人)	地域住民約79名 (4.5.6月のみ)	83
多文化共生のために地域で活動する団体への支援	事務局代行	通期	事務所	2	市民活動団体1団体	15

(2) その他の事業

なし